

計画事業番号	00303	事務事業名	学校図書館活用事業	担当部署	教育部学校教育課	電話	内線4822
--------	-------	-------	-----------	------	----------	----	--------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	学校図書館図書標準(文部科学省)学校図書館法第3条、第6条及び子どもの読書活動の推進に関する法律第4条				
事務事業開始年度	平成18年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進	
	(施策 2 ) 豊かな心を育む教育の充実	
2 対象	学校図書館、児童・生徒、教員	
3 目的と内容	児童生徒の読書活動や自発的・主体的学習の拠点となるように学校図書館を整備し、学校における児童生徒の読書活動を推進していく。学校図書館をネットワークシステムで管理することにより、学校図書センターを中心とした資料や活動の充実を図っていく。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	「学校図書センター」が中心となり、各小中学校の学校図書館の資料購入をはじめ、資料の協力貸出や学校司書配置によるネットワークを活用した蔵書の有効活用、各学校と連携した学校図書館の活性化を図った。
	29年度	昨年度と同様に、学校図書館の状況に合わせた活性化を図っていく。 (1)学校図書の購入 (2)図書センター資料の購入 (3)学校図書館ネットワークシステムの借上げ (4)学校司書の配置

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書の購入 5,691冊 図書センター資料の購入 1,858冊 学校図書館ネットワークシステムの借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置	学校図書購入費 図書センター資料の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の配置

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	学校と図書館の連携をさらに深め、学校図書館法に基づく国の動きなどを注視し、読書活動を推進していくことが必要である。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			17,193		16,712		16,771		16,771	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	425		0		0		0	
		一般財源	16,768		16,712		16,771		16,771	
	① 合計	17,193		16,712		16,771		16,771		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	12,600	0	12,600	0	12,600	0	12,600	0	
総事業費①+④			29,793		29,312		29,371		29,371	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①小学校学校図書館蔵書冊数	目標値	冊	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績値		83,583			
	②中学校学校図書館蔵書冊数	目標値	冊	54,000	54,000	54,000	54,000
		実績値		68,678			
③小学校学校図書館年間貸出冊数	目標値	冊	80,000	80,000	80,000	80,000	
	実績値		97,390				
④中学校学校図書館年間貸出冊数	目標値	冊	10,000	10,000	10,000	10,000	
	実績値		18,815				
成果指標	① 小学生年間貸出冊数 総貸出冊数/全児童数	目標値	冊	30	30	30	30
		実績値		31.6			
	② 中学生年間貸出冊数 総貸出冊数/全生徒数	目標値	冊	10	10	10	10
実績値			10.4				
③	目標値						
【指標の定義(算式等)】			実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	・学校図書館法や国の学校図書館整備5か年計画に基づき、学校図書館の整備を進めていくことが必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	・学校図書館の体制整備に着手したことにより、学校図書館の活性化が感じられているところである。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	・学校司書巡回配置の定着化に向け、国などの動きを注視しつつ、今後の体制について検討する必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	・学校図書センターの機能を活用し、学校図書館と図書館の連携を密にした効果的な運営を継続していく。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	--

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--